

共同研究の成果で全国に恩返しを

「自治体業務課題解決に関する共同研究協定」締結式

町は10月21日、富士フィルムシステムサービス株式会社(東京都)と「自治体業務課題解決に関する共同研究協定」を結びました。

この協定は、災害発生時に迅速な罹災証明発行や手続きの簡素化ができるよう、本町が熊本地震対応で得た経験と同社が持つ技術を活用し、共同で研究を進めるもの。

協定締結に際し、同社の川本寛執行役員兼公共事業本部長は、「本協定で目指すものは、迅速かつ適切な被災者支援。とにかくこれに尽きます」と決意を述べました。

共同研究協定 締結式



協定書を掲げる川本執行役員と西村町長



左から山本惣領局長、山内明福田局長、立石熊本県本部長、西村龍治砥川局長、佐藤勇二益城局長、右5人は町関係者(津森局長欠席)

さらなる連携で安心・安全の町へ

日本郵便株式会社と包括連携協定締結

町は10月22日、日本郵便株式会社と包括連携協定を結びました。

同社とはこれまで、地域見守り活動や町の魅力発信などの分野で連携・協力関係を築いてきましたが、より一層の連携を求め、今回の包括連携協定締結となりました。

九州支社の立石和人熊本県本部長は「町と情報共有し、さまざまな課題に取り組む」、県中部地区連絡会の総務担当副統括局長を務める山本広文惣領郵便局長は「全局長一丸となり町に貢献したい」とそれぞれ述べました。

大人も子どもも みんなで芋掘り

福原地域資源保全チームと第五保育所

11月2日、福原地域資源保全チーム(荒川忠一代表)と第五保育所の園児による芋掘りが行われました。

同チームは、用水路の生き物調査や景観作物の植え付けなど、農家と非農家の相互理解を深める活動を積極的に行っています。今回、同チームからは14人が参加。耕作放棄地を活用した芋畑に初めて園児を招きました。

園児たちは同チームの人たちと一緒に芋を掘りながら、コオロギや芋虫を捕まえたりして、「遠足より楽しい!」と土に触れる感覚を楽しんでいました。



自分で掘った大きな芋を抱える園児たち

Pickup Plus+
今月のプラス



10月9日、益城町管工事業協同組合(西村和幸代表理事)の会員17人が、早朝から約半日かけて町水道施設第1配水池の除草作業を行いました。同組合は毎年草刈りのボランティアを実施しています。会員の皆さん、ありがとうございました。